

書評

整形外科レジデントマニュアル

田中 栄, 中村耕三 ● 編 河野博隆, 中川 匠, 三浦俊樹 ● 編集協力

〔評者〕松田秀一 (京大大学院教授・整形外科学)

非常に完成度の高いマニュアルである。整形外科医としては常に最低限の知識を持ち合わせておく必要があるが、レジデントはもちろんまだ知識が十分ではない。したがってすぐに手で調べる必要性が生じたときには、白衣のポケットに入る程度のコンパクトな本が役に立つ。本書はできるだけかさばらないようにページの途中からも新たな単元が始まっているが、見やすい見出しが立てられてあり、とてもわかりやすい構成になっている。また、図、写真が多く、経験の少ない医師にとっても、理解しやすいように工夫されている。編集を担当された田中栄先生、中村耕三先生および東大整形外科教室の先生方には大変なご苦労があったと思う。まずこのご努力に深く敬意を表したい。

総論では、研修医がまず戸惑う手術機器の名称にはじまり、カンファレンスの心構えや文献検索法などについても触れてあり、かゆ

いところに手が届く内容になっている。章によっては、X線の撮像法についてまで詳しく書かれている。技師がいない状況でX線を撮像するということまで配慮されていると思うと恐れ入る。もちろん、理学所見の取り方、画像診断、初期治療についても簡潔に記されているし、何より重宝するのは、重要な分類や staging などがしっかりと記載されていることである。急患を専門医に相談や紹介するときに、骨折の分類を聞かれて戸惑ったことのある医師は私だけではないであろう。画像も送れない状況においては、共通の言葉で話さないと状況が伝わらない。いつもすべての教科書が手元にあるわけではないので、本書さえあれば整形外科の研修が始まって間もない医師でも状況をうまく翻訳することが可能になるだろう。

あまりにもよくできているがために、これだけで勉強が終わって



しまわないか若干心配ではあるものの、レジデントの皆様にはぜひとも購入をお薦めしたい。

B6変型 400頁 2014年
定価：本体4,500円＋税
[ISBN 978-4-260-01935-4]
医学書院 刊